

編集後記

季節の変わり目の中でも、冬から春への変わり目ほど人の心を浮き立たせてくれる時はないように思われる。しかし、このような文章を書きたくなるような気分になっている人達は、近畿から関東地方に住んでいる者に限られるのだろう。南国ではもうこんな気分は通りすぎてしまっただろうし、北国では1カ月位先にならないと心が浮き立つようにはならないのではなからうか、いずれにしても、日本という国の美しい季節を迎えることになる。

さて、その春を迎えてリハビリテーションの世界にも色々な変化が起こりつつある。

身障福祉審議会が身障者福祉の見直しをすべきだとの答申を出した。等級表の改正、リハ・サービスの体制の見直しなど、見るべき内容が盛り込まれている。今までに同じような声を聞いたような気もするが、今年は国際障害者年の2年目である。きっと厚生省も本腰を入れて実現させてくれるだろうと期待したい。

また、日本のリハビリテーション医学にとって、画期的な出来事ともいべき専門医制度が発足した。巻頭言の石田氏は、今後の専門医の進むべき道を示してくれているように思う。また、このような考えを持った人達が専門医になってくれば、日本のリハ医学

も、専門医の前途も明るいものであるにちがいない。

さて、後になってしまったが、本号の特集は頭部外傷である。3篇は脳外科の先生方に、2篇はリハビリテーションの立場から執筆して頂いた。頭部外傷は、脳卒中と異なり、全ての年齢相におこり得ること、四肢の機能障害ばかりでなく、知的障害をはじめとする多くの中枢神経障害を合併している。また、脳神経外科学の進歩により、救命の率は著しく高まっており、今後のリハビリテーション医学の責任は重いといわざるを得ない。この特集が活用されることを望みたい。

続き物の「講座」は、脳卒中患者の障害を評価、糖尿病の合併症と、いずれも臨床の場で役に立てるものばかりである。「研究と報告」も岡崎氏等の長年にわたるRAの関節管理の結論ともいべき力作である。さらに本号には、上田氏とAitken氏の「対談」、山田氏の「展望」と特色ある物を並べることができた。

最後に、本号から文献抄録の充実をはかったのにお気づきでしょうか。情報化時代の今日、文献抄録も御活用頂ければ幸いです。(大川 嗣雄)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
小 池 文 英
杉 山 尚
砂 原 茂 一
津 山 直 一
水 野 祥 太 郎
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
緒 方 甫
荻 島 秀 男
加 倉 井 周 一
賀 集 竹 子
河 邨 文 一 郎
小 島 蓉 子
五 味 重 春
齊 藤 正 也
笹 沼 澄 子
沢 村 誠 志
高 田 玲 子
高 橋 勇
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 欽
橋 倉 一 裕
長 谷 川 恒 雄
林 玉 子
福 井 園 彦
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
渡 辺 英 夫
(五十音順)

(細田, 山田)

次号予告(第10巻 第5号)

特 集 肢体不自由児教育

教員養成系大学における障害児医学のあり方

とその実態……………京都教育大 友 久 久 雄
東京における教育……………北養護学校 三 浦 和
普通学校への就学アプローチ
——長崎における現状——……………長崎県整肢療育園 穂山富太郎・他
普通学校における肢体不自由児
——脳性麻痺——……………心身障害児医療センター 大 塚 隆 二
普通学級における二分脊椎児
……………神奈川県子ども医療センター 陣 内 一 保

普通学校におけるデュシャンヌ型進行性
筋ジストロフィー症児……………東大・リハ 間 嶋 満
普通学校における肢体不自由児：切断児……………東京都補装具研 高 山 忠 雄・他
医師と障害者治療態度……………産業医大 浅 山 滉

巻 頭 言

研究と報告 進行性筋ジストロフィー症の下肢筋群
の CT パターンについて……………金沢大・医・短大 立 野 勝 彦・他

症 例 若年型糖尿病を合併した脳血管障害
片麻痺患者の運動処方について……………中伊豆リハセンター 花 田 実・他

紹 介 健康者における酸素富化装置 (TO-40)
の使用経験……………東京都養育院 太 田 隆・他

講 座 リハビリテーション医学の評価法4：Impairment
の評価・脊髄障害の評価……………総合せき損センター 赤 津 隆
リハ医のための代謝疾患入門4：糖尿病
の食事・運動療法……………東大・第三内科 小 坂 樹 徳

ひ と 第19回日本リハ医学会会長になられた
津山直一先生……………川崎医大 明 石 謙

一 頁 講 座 社会リハビリテーション4：障害者の所得保障……………法政大学 高 藤 昭